

# しんろ 進路だより だいごう 第4号

まつさかしりつちゅうぶちゅうがっこう  
松阪市立中部中学校  
2024年4月15日(月)

こうとうがっこうとう じゅげん じゅげん には、いくつかの種類があります。その主なものの概要を以下に示します。  
※県立高校の場合は「受験」、私立高校等の場合は「受験」と表します。

## (1) けんりつこうこう 県立高校

### ① ぜんきせんぱつ 令和7年2月3日(月)・4日(火)

- 前期選抜は「合格内定したら必ず入学する」ことを約束した上で受験します。
- 自己推薦書、調査書、「各校が実施する検査」の結果を総合して選抜します。
- 「各校が実施する検査」には、面接・作文・実技検査・学力検査などがあります。
- 選抜の際に「第3学年の評定」を見る学校と「3年間の評定」を見る学校があります。
- 「第3学年の評定」は12月時点の評定です。

※令和6年度のもの(昨年度の中3が受験したもの)となりますので、変更される可能性もあります。

#### 【参考】三重県ホームページ

「〈別表2〉令和6年度三重県立高等学校入学者選抜で前期選抜を実施する高等学校の『学校の特色』『選抜において重視する要件』『検査内容』『選抜方法』一覧」

※みなさんが受験するのは「令和7年度・・・」になります。

### ② こうきせんぱつ 令和7年3月10日(月)

- 後期選抜は、多くの学校が学力検査(国語・数学・社会・英語・理科)および調査書を基に合格者を選抜します。また、面接、作文、実技検査などを実施する学校もあります。
- 選抜に用いられる「評定」は2月時点の「第3学年の評定」です。

※令和6年度のもの(昨年度の中3が受験したもの)となりますので、変更される可能性もあります。

#### 【参考】三重県ホームページ

「〈別表1〉令和6年度三重県立高等学校入学者選抜に関する各高等学校別実施要項」

## しんろ 〔進路クイズ!〕

- 三重県内にある県立高校であれば、どの高校でも受験することができる。○か×か。
- 県立高校には「スポーツ推薦」がある。○か×か。
- 県立高校後期選抜で実施される学力検査の問題は、各高校が作成するため難易度が異なる。○か×か。
- 県立高校の「前期選抜」と私立高校の「推薦受験」の両方に申し込むことができる。○か×か。

## (2) 私立高校等

### ① 専願受験

- ・「専願」とは、「合格したら必ず入学すること」を約束した上で受験する方法です。
- ・一般受験と比較して、合格の基準が低くなる（有利になる）場合が多いです。

### ② 推薦受験

- ・「推薦」とは、「合格したら必ず入学すること」を約束した上で、各学校が定める条件を満たした場合に受験できる方法です。一般受験と比較して有利に判定されたり、入試の内容が異なりすることが多いです。
- ・条件は、各校で異なりますが「明確な進路意識」や「学習に対する高い意欲」を持っていて、「成績・人物ともに中学校長からの推薦を受けた者」である必要がある場合が多いです。
- ・「専願受験」「推薦受験」は、同時に2校以上申し込むことはできません。また、「前期選抜」と同時に申し込むこともできません。

◇高等専門学校（高専）の推薦選抜においては、出願資格となる評定の基準が公表されるものもあります。

【参考】令和6年度（昨年度）の場合

#### ○鳥羽商船高等専門学校（鳥羽商船）

特別推薦：2年と3年の9科目の評定合計72以上かつ全科目において3以上

一般推薦：2年と3年の9教科の評定合計62以上かつ全科目において3以上

#### ○鈴鹿工業高等専門学校（鈴鹿高専）

推薦による入学者の選抜：中学校3年間の9教科の評定合計が110以上

※あくまで、出願の基準であり合格の基準ではありません。

### ③ 一般受験（併願受験）

- ・合格しても他の学校に入学するかもしれない場合の受験方法です。（第一志望が他にある場合など）
- ・合格した場合、「入学する可能性」を残しておくためには、入学金などを支払う必要があります。（支払わない場合は、合格が取り消しとなります。金額や支払期限は各校によって異なります。）
- ・一般受験は、日程が重ならない限り、何校でも受験することができます。（受験料は必要）

これ以外にも、県立高校であれば「スポーツ特別枠選抜」を実施する高校や、私立高校であれば学校独自の受験方法を実施する高校もあります。三重県のホームページや各私立高校のホームページに昨年度の募集要項などが掲載されていることも多いので、気になる人は調べてみてください。

〔表面の進路クイズの答え〕 すべて「×」です。